

要請番号 (JL63023A51)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	新規1代目	2年	・2024/1・2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

人間・教育開発省

2) 配属機関名 (日本語)

シプトウトウイニ初等教員養成校

3) 任地 (マプト州マニッサ) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国内には38校の初等教員養成校があり、27校が国立(IFP)、11校が私立(EPP)で配属先はマプト州にある国立養成校であり、2001年に日本の無償資金協力により建設された。中等教育後期(日本の高校3年生に相当)まで終えた学生が3年間で小学校の教員になるための知識・技術を学び、生徒400名、教員数36名の規模である。国立の初等教員養成校は、普通、附属小学校が同敷地に併設されているが、当校は近隣の小学校にて生徒の実習を行っている。学校は、全寮制で、学校の敷地内に寮が併設されている。2003年から2009年まで3名の隊員が美術などの分野で派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モザンビークは2005年から初等教育無償化政策を開始、その後、学校数増加でアクセスが改善し、1998年に180万人だった初等教育学校の就学者数が2016年に680万人まで増えた。これに対し、教員の育成が急務となり、無資格教員の採用を2009年まで続けたことに加え、IFPが相次いで建設された結果、教員数こそ増加したものの、その質とレベルには大きな課題を残している。JICAはIFPの学生の算数・理科指導力向上のため、養成課程で使用する算数教育と理科教育関連教材の開発、全国のIFPへの普及プロジェクトを実施している。配属先は、算数科の教材を活用した指導方法の普及を望んでおり、JICA海外協力隊の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚と共に「算数指導法」の授業を実施する。
- 日本での授業運営や指導経験を同僚、生徒たちに共有する。
- マイクロソフトオフィスなどの簡単な指導(可能であれば)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンター、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

校長:男性、50代

教職員数:36名、平均年齢36歳

【活動対象者】

算数科指導教員4名

生徒約400名

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚と同レベルが求められる

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 3年以上 備考：同僚と同レベルが求められる

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(10～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】